

鹿屋体育大学学生のためのトップアスリート人材育成支援事業



NIFS
KANOYA

【事業の主な目的】学生が豊かな生活と文化的な生活を営むためのスポーツの意義を学び、社会で貢献できる人材となるため、またトップアスリートを目指す学生が置かれている現在の様々な環境・情報の中でスポーツに関わる者としての自覚と、適切・有益な情報を主体的で積極的に確保し、実行する力を育てるセミナーを行う。

事業計画	時期	前期				後期			
	トップアスリート人材育成支援事業セミナー		◇競技力向上スポーツセミナー① ◇インテグリティ育成セミナー ◇競技力向上スポーツセミナー②（通年で6回程度実施）				◇健康・栄養セミナー ◇学生リーダーズセミナー		
学内行事	新年度オリエンテーション等	競技力向上の会（学内事業）	夏期休業		冬期休業		春期休業		

鹿屋体育大学 独自で行う学生の人材育成（主な取り組み）

I. 「A. C. E. KANOYA」育成プロジェクト

2050年をターゲットイヤーとした大学ビジョン「NIFS NEXT30」の4つのミッション

- ①教育・学生支援 ②研究
 - ③国際化 ④社会連携・社会貢献
- そのうち ①教育・学生支援としての取り組み

○「アスリート憲章」の確認（2018制定）

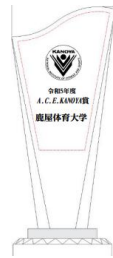
：インテグリティと社会規範の遵守

○「文武不岐」※の姿勢の育成を推進

※文武不岐とは、学問を究めることがスポーツを究めることにつながり、その逆もしかりであることを示す。

卒業時に文武両道を兼ね備えた人材へ

「A. C. E. KANOYA賞」を授与



II. 活動経費の支援

競技成績や活動実績等に応じた遠征費や各種トレーニング施設・機器の購入費を支援

III. 戦略的教育経費（SHEEP）

スポーツ等の国内・国際的に優れた体育人やスポーツとDX技術に精通した人材（スポーツDX人材）を養成するために、学部入学から大学院修士課程までの6年間を通じた教育プログラム「体育・スポーツ教育強化プログラム（SHEEP：Sports and Health Education Enhancement Program）」

多方面からの支援

本学が育成を目指す人材像へ

- スポーツ、武道、体育及び健康づくりの各領域における、先導的かつ即戦力となる人材
- スポーツ界のオピニオンリーダー
- 国際大会で活躍するアスリート

特徴を表すスローガン

「A. C. E. KANOYA」

- 活気ある (Active)
- 独創的な (Creative)
- 精鋭たち (Elites)